

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。体が暑さに慣れていない梅雨明けや急激に気温が上がった日は特に注意が必要です。普段からの外遊びで体を鍛え、喉がかわいていなくても水分をこまめに摂取するようにしましょう。

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。



プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3～5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうがで、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。

乳児脂ろう性湿しんのケア

6か月くらいまでの赤ちゃんの髪の毛の生え際やまゆ毛などに、黄色いフケのようなものが付いていたら、乳児脂ろう性湿しんかも。頭皮や顔を洗って清潔を保てば治ります。こまめにケアしましょう。

かさぶた状になった湿しんの洗い方

- 刺激の少ないせっけんをよく泡立てる
- 生え際……指で円を描くように、優しくなでるように洗う
- まゆ毛……せっけんを泡立てたガーゼで軽くこする

※かさぶたは無理にはがさず、ふやけて取れるものだけ洗い流しましょう。



ひどくかゆがる、じゅくじゅくしている場合は皮膚科を受診しましょう

園での服装について

基本的に動きやすく、体温調節のしやすい通気性、吸水性のある服装でお願いしております。また、汚れを気にせず遊ぶことができ、長いひもや飾りの付いていない物、フードの付いていない洋服にしてください（ひもや飾りは遊具にひっかかるなど、思わぬ事故の原因となります）。ご協力をお願いいたします。

